

2016年12月15日 校長 萩野 幹夫

『今後の英語教育とヤンゴン日本人学校』

教頭 渡邊 達也

2020年より学習指導要領が改訂になります。英語科における大きな変更点は、小学校の5、6年生で現在行われている英語に慣れ親しむための外国語活動（週1時間）が、正式な教科「外国語（英語）」（週2時間）になることです。この外国語の授業では、「読む・書く」という内容も盛り込まれます。そして、これまで行われてきた外国語活動（週1時間）が小学校の3、4年生に移行することになります。中学校の授業については、現行通り週4時間の「外国語（英語）」授業となります。

さて、ヤンゴン日本人学校では、中学部は英語の授業が週4時間と英会話の授業が週1時の5時間で実施しています。英会話はALTの教員と日本人英語教員のTT（チームティーチング）の形式で学年毎に実施しています（中2と中3は人数の関係から合同で実施）。小学部5、6年生は週1時間の外国語の授業と週1時間の英会話の授業があります。小学部の1～4年生までは、週1時間の英会話の授業があります。英会話の授業は、小学部3年生以上が初級、中級、上級の3コース制になっており、小学部1、2年生は初級クラスと中・上級1クラスの2コース体制になっています。それぞれのレベルに合わせて指導する、という点で3コース制（小学1、2年は2コース制）は大きなメリットがあります。また、少人数の中で英語の歌を歌ったり、ゲームをしたりするなどの言語活動を積極的に実施しており、子どもたちも楽しみながら英語の勉強に取り組んでいます。問題点としては、教室の数が足りず、理科室や応接室、プレールームなどを少人数教室として使用せざる終えない実態があります。

子どもたちの英語力は日本国内に比べれば、とても高いです。中学部になると英語、英会話のいずれも、概ね英語を使用して授業する形態になります。日本から転校してきた生徒は最初戸惑いますが、どの生徒たちも頑張って授業についてきています。日本の中学校では2月末から3月上旬までに終わることになっている英語の教科書も、ヤンゴン日本人学校では1月にはすでに終了し、会話やリスニング、英作文などより高度な自己表現のための学習に取り組んでいます。将来、日本と外国の架け橋になる子どもたちが、英語を使ってどんどん自己表現できるよう、これからも支援を続けていきたいと思えます。

<主な学校行事等予定>

12/20日(火)～22日(木) 個別懇談会 23日(金) 第二学期終業式
12/24日(土)～1/4(水) 冬季休業日
1/5日(木) 三学期始業式 1/27(金) H28新・転入生学校説明会

<今月の学校運営委員会報告>

12月12日 10:00～11:30 校長室

出席: 本宮委員長、中村教育担当、東書記官、梁井PTA会長、萩野校長、

オブザーバー 渡邊教頭、塚本事務長

議事・報告 ①学校状況報告 ②人事について ③11月会計報告など

④学校運営規則の改定

『運動会』について

運動会担当 廣川 雅也

1月21日(土)に恒例の運動会が予定されています。ここ数年の急激な児童数の増加を鑑み、本年度の運動会からこれまで行ってきたヤンゴン日本人会との合同開催という形ではなく、ヤンゴン日本人学校単独での運動会開催となります。



また、ヤンゴン日本人会の方は、運動会から、スポーツ大会へと運動会の形を変え、より楽しんで参加できるものへと方向の転換がなされているところです。

さて、本年度から単独開催となる運動会。新たな種目として、各学年の徒競走が加まりました。目玉であり、子どもたちも大変楽しみにしている紅白対抗全員リレーは、人数増加からこれまで同様の実施が難しいため、下学年(1年～4年)の部と上学年(5年～中学部)の部の2部に分けて実施することになりました。また、国際交流、福祉教育という視点から、お向かいのマリー・チャップマン校の児童生徒さんを招待し、オープン競技として参加頂いただきながら交流を図る予定です。

気候の特性から、運動会の実施はこれまで通り午前中のみの実施となります。限られた時間の中で、子どもたちが精一杯楽しみ、精一杯身体を動かせる、そんな運動会にしていければと思います。温かいご声援とご協力をよろしくお願いいたします。

「現地理解教育の充実」

総合的な学習の時間担当 伊藤 佳代子

今年度、生活科・総合的な学習の時間は、年間指導計画を大幅に見直し、現地理解教育の充実を図っています。

まず、写真随筆家・森林インストラクターの大西信吾先生をお迎えし、「ミャンマーの自然や生き物を知ろう」というねらいで、各学年発達段階に合わせた学習をしています。中学部は、7月に国営のフィッシャリーステーションに行き、ミャンマーの養殖漁業について学習し、地引き網体験、水生生物の採集をしました。5,6年生は、「校庭の植物標本を作ろう」と、植物採集・標本作りに取り組んでいます。今月7日には、ミャンマーの植物学の第一人者であるドーインインチー先生をお迎えし、ボジョーパークでミャンマーの特色ある植物の観察をします。小学部3・4年生は、先月25日に、フィッシャリーステーションで地引き網体験と水生生物採集、水鳥の観察をしてきました。小学部1・2年生は、3学期にヤンゴン動物園へ行って動物の観察をする予定です。



また、NPO法人地球市民の会の柴田京子さんの協力で、ミャンマー農業学習に取り組み、5,6年生は、アガペー孤児院の土地を借りて、土を起こして畝をつくることから、農業体験をしました。

その他、小学部1年生は、ディプロマティックスクールの友達と交流をしています。2年生は、学校の周りの地区の探検に出かけました。

3年生は、ヤンゴン環状線に乗って、ヤンゴン中央駅まで行き、ミャンマーの鉄道を調べました。中学部3年生は、証券取引所の見学やミャンマー・ジャポンで職業体験を行いました。

海外日本人学校では、校外学習ができない学校の方が多のが現状です。ここヤンゴンでも渋滞や保健衛生、安全など様々な問題を考慮しなければなりません、どこへ行っても日本人学校の子供達を歓迎してくれるミャンマーの人々に感謝しなければなりません。今後も保護者の皆様のご理解を得ながら、子どもたちが主体的に取り組み、生きる力となる体験活動を実現していきたいと思っています、



※PTAバザーの収益金の中から、折り畳みテントや大型扇風機などたくさんの物品を寄付していただきました。学校側では、中々購入したいと考えていたものばかりです。皆様のご支援にあつく感謝申し上げます。

※海外子女教育財団より、教育援助費として、楽器購入費用として50万円ほどの補助金をいただきましたので紹介します。